

家電製品「アドバイザー」「エンジニア」試験

一般財団法人家電製品協会認定センター（東京・千代田区霞が関）は平成27年3月8、11の両日に行われる第28回「家電製品アドバイザー」「家電製品エンジニア」試験の願書を受け付けている。11日はアドバイザー試験のみ。締め切りは1月26日（月）。

家電製品アドバイザーは家電の営業に関わる商品知識や接客スキル等の習得を目指す資格で、大型電気販売店やケーブルTV会社などでは昇進昇格の条件とし

家電製品協会認定センター

ているところも多い。また、家電製品エンジニアは、家電のハード・ソフトの基本知識をベースに不具合診断・修理業務を含めた総合的なソリューション力の習得を目指す資格で、家電サービスマスター業務に従事者にとっても必須といっても過言ではない。

これらの資格は2001年に導入され、これまでに延べ約15万人が資格を取得。9月に実施された第27回全国統一試験では約8400人が挑戦し、約270

0人が認定を受けた。

同協会認定センターによると、インターネットを活用した家電製品のネット販売が台頭する中で、「家電の専門家による対面販売・サービスマスター」の重要性が再認識され受検者は増加しているという。技術や商品の変化が激しい家電業界だが、原子力発電問題に端を発した本格的な省エネ・再生可能エネルギー時代の到来、また少子高齢化を背景とする介護問題へのロボット技術の応用など、時代の変化を

ネットで受検を受け付け

締め切りは1月26日(月)

先取りする形で新たな技術や製品が誕生している。家電製品アドバイザー・エンジニアのカリキュラムもその変化に沿って、毎年、見直しが行われている。

試験は毎年2回、3月と9月に全国主要都市で一斉に実施される。試験の申込みは同認定センターのホームページ(<http://\aeha-intel.com>)からインターネット申請となっているが、学校(企業)単位での「団体申請」も行われている。詳しくは、同協会認定センター ☎03-6741-5609まで。